

2019年のポストカードの作品が決定!

アニメーション作家・イラストレーター 福地明乃さん



今年「登場した」のは、読谷村出身のアニメーション作家・福地明乃さん。私たちがなじみの深い「うたな」はNHK沖縄の人気番組「うたな〜であそぼ」で昨年3月に放送された「与那国島の大わらし」のアニメパートを担当しました。番組ホームページでもご覧いただけます。現在は神奈川県横浜市を拠点にフリーで活動し、さまざまな作品づくりに携わっています。

「私にとって沖縄の色彩は特別なもの。幼い頃から見てきたいろいろな色合いを作品に込められるように、日々制作に取り組んでいます」と話す明乃さん。もとも小さい頃から絵を描くのが大好きで、高校卒業後は沖縄県立芸術大学へ進学。3年生のときに初めて映像制作を経験し、「私が描いた絵が、まるで生命を吹き込まれたように動き出す姿に感動しました」。

それ以来、アニメーションの魅力にどっぷりハマリ、卒業制作でも映像作品を発表。さらに専門的に学ぶために東京芸術大学大学院へ進んで研さんを重ね、修了と同時に独立



生まれ育った沖縄の色彩をイラストや映像作品に込める

福地明乃さん (ふくじあきの)
1993年…沖縄県読谷村出身
2016年…沖縄県立芸術大学 デザイン専攻卒業
2018年…東京芸術大学 大学院映像研究科 アニメーション専攻修了
現在はフリーで活動中♪

【おもな受賞・活動歴】
●2017年5月
オーバーハウゼン国際短編映画祭 Children's and Youth Film Competition 部門「SUMME TIME」上映
●2018年3月
NHK 沖縄「うたな〜であそぼ」 昔話アニメ「与那国島の大わらし」放送

「県外にいながら、NHKの番組をはじめ沖縄の仕事に関わっていることが幸せ。いまでも帰省時は、幼少時の記憶を忘れないようにするために、あちこちに風景を見に出かけて色をストックしています。現在25歳。将来のことはまだ分かりませんが、沖縄でアニメーションを学びたい方たちのお手伝いをしたい」との構想もあるそうです。

今年のポストカードの配布に寄せて、「県外で暮らすようになって、私はなんて恵まれた土地で生まれ育ったんだろ」と改めて実感しています。そんな沖縄の魅力を再確認してもらえなきゃいけないなれば、とメッセージをくれた明乃さん。ポストカードはもちろんです。お届ける一つ一つのイラストが、どんな世界観を持って動き出すのか想像しながら毎月お楽しみ下さい。

Fresh ウィンズ



Fresh Winks
2019年
1月号
Vol.172

TOKYO 2020

人と人とのつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌



読者プレゼント

『映画ペアチケット』

3組様

世界一短いトンネルも同じです

Q なぞなぞ

世界一長いトンネルは、つながりかたが何種類かある。そのなかから1つを選んで、そのトンネルの入り口と出口をそれぞれに記入してください。

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先 読谷村字伊良皆237-1 ウィンズ『広報誌係』

①住所 ②氏名 ③年齢 ④職業 ⑤電話番号

裏 ⑦意見 ⑧感想

はがき 904-0303

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り 2019年1月20日消印有効
「当選者は次号(Vol.173)にて発表致します」

『Freshウィンズ』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布致しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウィンズ広報誌係)

- 12月号当選者 前号の答え(やかん)
- ★安谷屋知恵さん(豊見城市在住)
 - ★砂川ことはさん(読谷村在住)
 - ★比嘉和枝さん(嘉手納町在住)



↑那覇市 役場 嘉手納町 名嘉病院 比嘉川 ウィンズ エネオス 読谷高校 ファミリー マーケット おきなわ 養蜂舎 道の駅 読谷事務所 名護市→

(株)池原建設 企画事業部ウィンズ
〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良皆 237-1
営業時間 / 9:00~18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや補修等のご相談は、お気軽にスタッフへお声掛け下さい!

☎0120-229-512 ウィンズ 池原建設 検索

今月の歳時記

- 1月2日(水)~6日(日) 沖縄こどもの国「雪と光の冬物語」
会場・開催地/沖縄市・沖縄こどもの国
- 1月19日(金)~2月3日(日) 第41回 もとぶ八重岳桜まつり
会場・開催地/本部町・八重岳桜の森公園
- 1月26日(土)・27日(日) 第57回 名護さくらまつり
会場・開催地/名護城公園・名護市内
- 1月26日(土)~2月11日(月) 第12回 今帰仁グスク桜まつり
会場・開催地/今帰仁城跡

明けましておめでとうございます!

いよいよ2019年。県内では今年も大きなイベントが相次ぎ、ゆいレールの延伸区間が夏に開業予定、那覇空港第2滑走路は12月完成予定です。読谷村では、9月から始まるラグビーW杯に向けて、アメリカ代表チームが合宿を行います。

暖かい日が続く今冬の冬、寒緋桜の開花時機にも影響するでしょうか。1月下旬から本島北部では、恒例の桜祭りが順次開催されます。



2019年の池原建設は「サンライズ」から「ミラクル」へ 4人のリーダーを中心に、連携を強化しイノベーションを加速



■新年への飛躍を誓う次期リーダーたち。2016年に女性だけで始まったサンライズ計画のメンバーに、昨年から男性2名が参加。夏以降にどんな「ミラクル」を創ることができるか、ワクワクした気持ちで目標に向かって進んで参ります。

私たち池原建設では、今年7月に新事業年度の第37期がスタートします。3年間かけて社内体制の整備・強化に取り組みできた「サンライズ計画」も総仕上げの時期にかけ、その成果を踏まえて、7月からの新たな中期計画のスタートを「ミラクル」に決定しました。昨年暮れ、サンライズ計画の中心メンバー4人と役員が集まり、これまでの取り組みを振り返りながら、来期に向けたそれぞれの目標を発表しました。

「3年間の事業計画の成果が、思いも寄らない形で次々と」



代表・池原多加氏

私たち建設業界を取り巻く状況が複雑化・多様化していく中で、いま一度社内での結束を高めようと2016年から

取り組んできた「サンライズ計画」もいよいよ大詰め。現段階ではほぼ理想的な形に仕上がっており、期末の6月を前に大きな達成感を覚えています。具体的には、社員同士がお互いに理解し協力し合いながら一つの目標に向かうという、いわば当たり前のことが当たり前に行われるようになり、以前に増して目の前の仕事に集中できるようになりました。振り返ると、トップダウン式に各事業部に指示を出すのではなく、部署ごとに4人のリーダーを抜てきし彼ら彼女らの主体性に任せたことで、おのずと横の連携が生まれ、好結果につながったのではないかと考えています。

この3年間の成果を踏まえ、「サンライズ計画」に続く7月からの次期中期計画の名称を「ミラクル」に決定しました。英語で「奇跡」を表す言葉ですが、もちろんそれは努力せず幸運を期待するような「棚からぼた餅」的な意味ではありません。今まで皆で頑張ってきたことが「思いも寄らない」と考えています。

「次期リーダーたちの声」「社員全員が良きパートナー。」

「結束して幸せをつかむ」



総務部・雨瀬美和

「会社の明日を築く仲間たちと、一歩踏み込んで話し合う」女性社員を中心に始まったサンライズ計画に、昨年か

自ら大工として現場に出る傍ら、他の大工をまとめる立場にあります。個人的に技術を磨くことは楽しくて仕方ないのですが、チームワークづくりだけは何年経っても正解が見えず、試行錯誤が続きます。そうした中で昨年はサンライズ計画のメンバーに抜てきされ、2つの重責を担うことになったわけですが、その時々の施工事業部の状況や問題点を皆で共有できたことは、結果的にプラスだったかもしれません。今年も現場のことと会社全体のことで、2つの課題に前向きに取り組む、目に見える成果を残していきたいと思えます。



常務・仲村勝志

「サポート役に徹し、次期リーダーの芽を育む」

総務・企画事業部・建設事業部・施工事業部の4つのセクションを統括し、会社全体の業務を円滑に回していくことが私の任務。昨年以降は4人を主導する立場からサポート役に回り、リーダーとしての自覚を促し自立を支援してきました。まだまだ課題は残るものの、主体的に判断・行動する姿勢が増し、部署間の垣根を越えた連携も生まれ、着実な進歩が見られます。今年も引き続き、彼らが次代の池原建設を担うリーダーとして力を発揮できるよう環境を整えていくことが、私にとっての大きな課題であり目標です。

ら建設現場に携わる男性メンバー2人が加わったことで、今まで以上に会社の動きに即した議論ができるようになったと感じています。もちろん普段からコミュニケーション自体は交わしてきましたが、さらに一歩踏み込んで、お互いの仕事内容に深く関わり合うようになりました。

総務として今年の目標は、まずは年4回のイベントをしっかりとくり上げること。昨年は時間に余裕がなく何とかこなせた状態だったのですが、今年はゆとりをもって準備・対応していきたいですね。それと同時に、4人のメンバーとは営業面・数字面を意識した議論も重ね、各部署での目標を達成できるように、総務の立場からバックアップしていきたいと考えています。

会社の窓口になるのが営業である私のポジション。実際にやり取りをする中でどんな意見や要望、あるいは問題があったのか、サンライズの会議のたびに報告して皆で話し合い、改善点が見つければそれを次回の接客時に生かしていきました。今年はお客様との関係をより密に保ち、今まで以上に喜んでいただけるような仕事を目指します。

また、昨年からは始まったデザイン研修が今月で一区切りします。学んだ内容をしっかりとフィードバックしていきたいですね。



■昨年1月から取り組んできたデザイン研修。企画・提案力が着実にアップしました

「会社の営業窓口になり、お客様の声を改善につなげる」お

4人の中ではお客様と顔を合わせる機会が最も多く、



企画事業部・長浜円



施工事業部・照屋悟

「何でも話し合える場を持ったことが仕事にもプラスに作用」

建設現場の責任者として、工程管理・安全管理などの業務を担当しています。昨年からはサンライズ計画のメンバーに加わり、お互いの仕事の状況や問題点を定期的に確認し合うようになりましたが、私自身の持ち場で求められているのもまさに同じこと。すべての工事を確実に無事故で進めるには、お客様と施工担当者、両者との密なコミュニケーションが不可欠です。こうした当たり前の目標を一つ一つクリアしていきたいながら、どんな事態にも的確に対処できる判断力を養っていきたくと考えています。



■昨年8月18・19日に開催した工作教室。木とタイルを使った作品づくりにチャレンジ